

# 新インターの 開通を祝う

## 市内2カ所で 開通記念イベントを開催

今年3月22日に開通した、三陸縦貫自動車道「登米東和インターチェンジ（IC）」の開通を祝い、同日市内2カ所で記念イベントが開催されました。



さまざまな「はっと」の味を楽しむ【はっと屋台村】

「油麩ははっと」を始め、さまざまなはっとが多数用意され、訪れた人ははっとを楽しみながらICの開通を祝いました。

また、同日、東和の道の駅「林林館」では「登米東和IC開通記念祭」が開催され、農林産物の特売会や民俗芸能の披露が行われたほか、地元産のもち米を使った草もちや、木製の「木ーホルダー」の配布に長蛇の列ができるなど、大勢の人が訪れ、にぎわいを見せていました。



開通を祝うつきたてのもちに長蛇の列【開通記念祭】

# 市内の交通事故ゼロを目指して

## 各機関が協力し春の交通安全運動を展開



飲酒運転の根絶を呼び掛けた「街頭パレード」

大会では、板橋晃一登米警察署長が「昨年市内では物損・人身事故が合わせて年間約1800件も発生しています。このような中、皆さんの取り組みは警察としても大変心強い。今後も相互に協力し市内から交通事故を根絶しましょう」と呼び掛けました。

か、飲酒状態を体験できる特殊なゴーグルを装着しての歩行体験などが行われました。その後、市長の「交通事故防止ガンバロー」の掛け声とともに、パトカーを先頭に登米町内で交通安全パレードを行いました。



死亡事故ゼロ1,500日達成を記念し表彰状を贈呈



特殊なゴーグルを装着し飲酒状態での歩行体験

春の交通安全全市民総ぐるみ運動が4月6日から15日まで全国一斉で行われました。期間中、市内各地では街頭指導や交通パトロールなどさまざまな事業が実施され、ドライバーや歩行者に交通事故防止を呼び掛けました。

また、運動初日の6日には、「交通安全運動市民大会」が登米総合体育館で行われ、左沼・登米両警察署、両地区交通安全協会、指導隊など約300人が参加しました。

# 期待と希望に胸を膨らませて

## 市内幼稚園、小中高等学校で入園・入学式

4月は、夢や希望を胸に抱き、気持ちを新たにする入学シーズン。市内でも多くの幼稚園や小中高等学校で入園式と入学式が行われました。

4月8日に入学式が行われた加賀野小学校では、新入学児童が、元氣いっばいに保護者と初登校をしました。

式では、新入学児童36人一人一人の名前が読み上げられ、伊東博敏校長から「皆さんが入学してくるのを、先生や上級生の皆さんは楽しみに待つ



名前を呼ばれて元気に返事をしました（加賀野小）



PTAと交通安全協会からの記念品の贈呈（加賀野小）



力強く誓いの言葉を述べる小松君（石越中）

ていました。明日からはきちんと自分で起きて、しっかりと朝ご飯を食べ、元氣に登校してきてください」とあいさつがありました。

その後、2年生の皆さんから、昨年1年間でできるようになった縄跳びや、楽器の演奏の披露が行われた後、「学校には、楽しい行事がたくさんあります。学校のことでも困ったことがあった時は、わたしたちに相談してください。明日から一緒に楽しく過ごしまし

しよう」と歓迎の言葉が送られ、新入学児童は小学生の仲間入りをしました。会場では、訪れた大勢の父兄が、カメラやビデオで子どもたちの晴れの瞬間を記録してしました。



緊張した面持ちの新入生たち（上沼高）

石越中学校では、少し大きめの新しい制服に身を包んだ新入学57人が緊張した様子で体育館に入場。在校生や保護者らが見守る中、式が始まりました。



クラスみんなと記念写真（米山西幼稚園）